

特別展示

戦前のおもちやたち

く 奈良女子高等師範学校教育資料からく

旧奈良女子
高等師範学校本館
《重要文化財》

国立大学法人 奈良女子大学

フェスタ
国立大学2014

記念館

—

一般公開



平成26年10月28日(火)

入場無料

～11月3日(月)

午前9時～午後4時30分(入館は午後4時まで)

11月1日(土)～3日(月)の特別企画

- 「百年ピアノ」(国産最古級のグランドピアノ)の演奏
11:00～11:30、14:00～14:30
- ミュージアムショップ開設(大学オリジナルグッズの販売)



一人シーソー
(セルロイド製)
(昭和6年3月購入)



ゼンマイ仕掛自動車
(昭和9年5月購入)

交通

近鉄奈良駅1番出口から徒歩5分
JR奈良駅から市内循環バス
近鉄奈良駅前下車徒歩5分
※車での来場はご遠慮願います。

連絡先

奈良女子大学 総務・企画課
〒630-8506 奈良市北魚屋東町
TEL.0742-20-3220
FAX.0742-20-3205



耐震工事実施のため、記念館は平成26年11月4日～平成28年3月(予定)まで休館いたします。長期休館前の一般公開となりますので、是非ご来場ください。

奈良女子大学記念館について

奈良女子大学の前身である奈良女子高等師範学校は1908(明治41)年3月に設置され、翌年5月から授業を開始しました。校舎の工事は1908(明治41)年2月から始まり、翌年10月には主要な建物が完成しました。現在、奈良女子大学記念館としている建物は、奈良女子高等師範学校本館としてこのとき建設されたものです。

設計は京都帝国大学建築部長で奈良出張所心得の山本治兵衛が行いました。

木造二階建てで、外観の大きな特徴は、北欧によく見られる木部を外に表す壁構造のハーフティンバー形式をとっており、屋根には頂塔およびドーマー窓が設置されていることにあります。1階は中央に廊下が配され、これを挟む形で7室が設置されています。建物両端にある階段で2階に上ると、フロア全体が大きな講堂となっています。講堂内には柱は用いられず、中央部に二重に織り上げた天井には明かり取りの窓が配され、広々とした空間が広がります。

1994(平成6)年2月から6月にかけて改修工事が行われ、同年12月27日に正門および守衛室と併せて重要文化財に指定されました。

旧本館は建設以来、改変された箇所はほとんどありません。現在も2階講堂内部には奈良女子高等師範学校開校当時から使用されていた長椅子がそのままに並び、開校時に購入したもっとも古い国産ピアノのひとつであるとされる「百年ピアノ」がおかれ、往事を偲ぶことができます。

特別展示

戦前のおもちゃたち

～奈良女子高等師範学校教育資料から～

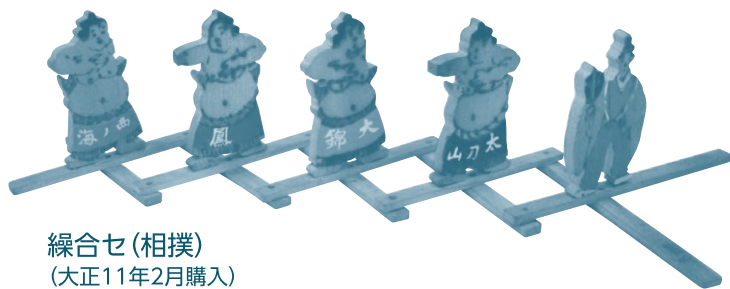


犬張子
(大正7年12月購入)



木製金魚
(昭和4年8月購入)

ライト付パッカード自動車
(昭和12年2月購入)



繰合せ(相撲)
(大正11年2月購入)



汽車遊ビ
(昭和9年5月購入)



ビクリ猫
(昭和14年3月購入)

「戦前のおもちゃたち」

奈良女子大学は、奈良女子高等師範学校時代から現在にいたるまで、さまざまな教育資料を多数所蔵しています。今回の特別展では、400点をこえる戦前のおもちゃ資料の一部を紹介します。展示するおもちゃの多くは、株式会社三越呉服店大阪支店ならびに株式会社三越大阪支店から購入されたものです。

江戸時代創業の呉服店越後屋の後進である三越呉服店は、明治33(1900)年「デパートメントストア宣言」を行った日本初の百貨店として知られています。イルミネーションやエスカレーターなどの最新設備を備える一方で、明治期より「児童博覧会」を開催するなど、子どもの生活用品の充実、とくに玩具の改良、考案にも力を入れていました。

今回展示するおもちゃたちは、奈良女子高等師範学校が当時、時代の最先端をいく児童用品の数々を教材として集めていたことを示す、貴重な資料となっています。